

交通安全のポイント

令和3年6月5日
福島県警察本部

1 人身交通事故発生状況（6月4日現在の概数） ※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
1,268件 (-155件)	18人 (-4人)	10人 (-1人)	1,454人 (-254人)

2 ヤングドライバーの死亡事故発生

6月4日(金)午後5時45分頃、いわき市平の県道で、20歳男性が軽自動車を運転中、道路案内標識柱に衝突し亡くなるという痛ましい交通事故が発生しました。

交通事故が発生した当時天候は雨で、路面は濡れていました。

福島県も間もなく梅雨に入ります。

雨が降ると

○ 視界が悪くなる

○ 路面が濡れて制動や操作に悪影響を及ぼすおそれがある

など、交通事故の危険が増します。

また、夏が近づいているので、天気がよくなると気温が上昇し、ぼんやり運転も心配されます。

晴れても、雨が降っても交通事故に気をつけましょう！

★ドライバーの皆さんへ★

○ 視界の確保

雨天時は、油膜や水滴により特に夜間は視界が遮られ危険な状態となるので、油膜取りやワイパーのこまめな点検を行いましょう。



○ 速度を抑えた運転

雨が降って、路面が濡れているときは、晴れの日比べてブレーキを踏んでから、車が止まるまでの距離が長くなります。

晴れている日よりも慎重な運転を心がけ、特に速度は控えめにしましょう。



○ 自転車、歩行者等との距離の保持

雨の日には車を運転する際は、自転車、歩行者等の動きに注意するとともに、脇を通る時には、水たまりの水がかかったりしないよう、いつもよりも間隔をあけて通過しましょう。



○ 適度な休憩

天候がよく、暑くいなか長時間運転を続けると、どうしても緊張感が低下し、漫然運転になりがちです。

また、運転による疲れがたまってくると、居眠り運転の原因にもなりますので、適宜休憩をとり慎重な運転をお願いします。

